

# 小麦ができるまで

小麦は、春にまいて夏に刈り入れる「春まき小麦」と、秋にまいて次の年の夏に刈り入れる「秋まき小麦」の2つがあります。

今回は、北海道でたくさん作られている「秋まき小麦」ができるまでを見てみます。

## 1 種まき～芽が出るまで・・・9月上旬～9月中旬



キカイによる種まき

ふつうは種をすじにまきますが、バラまきすることもあります。



種まきがおわった畑

えいよう分（肥料）は、雪がひりょうつもるまでの生育にひつような分だけあげます。

## 2 芽が出そろうまで・・・9月中旬～10月上旬



種から芽が出てきました。



芽が出そろいました。

種をまいて1～2週間で芽が出ます。

## 3 雪がつもる前にするしごと・・・11月中旬～12月上旬



キカイで薬をかけます。

雪がつもる前に、小麦が雪の下でびょうきになってかれないように、薬をよぼうかけて予防します。

## 4 雪がつもっている間に・・・2月下旬～3月上旬



小麦畑の雪を早くとかしてあげると、びょうきにかかる小麦が少なくなります。  
また、小麦の生育がよくなって、たくさんとれるようになります。

そのため、温度が高くなってくる3月上旬ころに「ゆう雪ざい」という黒い炭のすみ  
粉こなを畑にまいて、雪を早くとかせます。

## 5 雪がとけてから・・・4月上旬～5月下旬



雪がとけたら小麦にできるだけ早く、雪がとけたあとの生育にひつような、えいよう分ひりょう（肥料）をあげます。

えいよう分は1回にたくさんあげすぎると、刈り取り前までに小麦がたおれて実が大きくならなくなってしまうため2～3回に分けてあげます。

## 6 花がさくまで・・・6月上旬



6月に入ると小麦か  
ほ  
ら穂が出てきます。  
ほ  
穂が出てから、まも  
なく小麦の花がさきは  
じめます。

## 7 小麦の刈り取り・・・7月下旬～8月上旬



麦が黄金色になったら刈り取りです。コンバインというキカイで刈り取ります。



刈り取った小麦は、まだ水分が多いので、カンソウさせます。その後、まざっているクキなどのごみを取ってから大きなフクロに入れていきます。



刈り取りが終わったら、畑に残った小麦のワラを集めて畑から出します。

集められた小麦のワラは、牛をかかっている農家で、牛がし気もちよくねられるように、ねる場所に敷いて使われたりしています。

## 8 小麦の食品を食べよう・・・1年中



小麦はそのまま食べられることはほとんどありません。

小麦を粉（小麦粉）にして、パン屋さんでパンにされたりケーキ屋さんでケーキやおかしになります。また、うどんやラーメン、スパゲッティなどになって、みんなにおいしく食べられます。



どれも小麦粉をつかった食べものです。おいしそうですね！